栃木県立足利南高等学校
令和６年度　総合学科通信　第２号

№．69
（2024/12/20発行）

一日体験学習

教頭　松嶋　典子

今年は8月1日、中学生と保護者を対象に実施され、猛暑の中午前・午後併せて 31 の中学校から、保護者含めて５８３名の参加でした。涼しい教室を会場とし、総合学科・単位制について DVD を視聴してもらいました。特に２・３年次の選択授業・時間割作成・系列・課題研究などは生徒主体で活動する学科特有の内容なので、丁寧に説明しました。また、部活動の様子は過酷な暑さのため、事前に撮影した各部の活動風景を DVD にまとめ見てもらいました。その後、希望者は器楽、製菓実習、プログラミングなど７講座を体験しました。参加後のアンケートでは、時間割や普通科との違いについて理解できた、部活動についてもっと知りたいなどの意見をいただきました。部活動については事後アンケートに多くの質問があり、後日回答をホームページに掲載しました。

総合学科となり、20 年以上が経ちますが、まだまだ普通科との違いや、学校の様子などが理解されていないことも実感しました。次年度以降も今年の反省を踏まえ、一日体験学習を通して本校の良さを周知できればと思います。

マラソン大会

保健体育科担当　戸田　夏希

11月15日（金）第６回足利南高校マラソン大会が開催されました。前回大会は悪天候で中止だったため、２年ぶりの開催になりました。生徒たちはこの日のために、体育の授業で様々な走り方を学習し、学校のまわりを走る「県コース」での練習を重ねてきました。好タイムを目指して頑張る生徒や友人と仲良く走る生徒など様々な様子が見られました。出走生徒387 人が無事にゴールすることができ、一人ひとりがそれぞれに達成感や充実感を味わったことと思います。

【個人成績】

○男子の部　　完走者数：１２５名

順位	クラス	氏　名	記　録
1	1137	山岸　優宏	0:49:58
2	1238	吉澤　幸成	0:50:09
3	1112	狩野　慎太朗	0:50:38
4	1415	久保田　優心	0:51:19
5	1308	川島　颯樹	0:51:25
6	1125	中村　虎太郎	0:51:26
7	1326	仲宗根　富男	0:51:27
8	1418	齋藤　優光	0:51:39
9	1309	菊澤　海大	0:51:57
10	1225	永井　大貴	0:54:15

○女子の部　　完走者数：２６２名

順位	クラス	氏　名	記　録
1	3314	柏瀬　愛梨	0:54:46
2	1131	平栗　実涼	0:56:33
3	3326	中村　心結	0:59:03
4	3426	福士　茉穂	1:01:19
5	3112	久保田　実希	1:01:43
6	1239	渡部　千保子	1:02:13
7	1105	新井　ひまり	1:02:39
8	1103	阿彌　和叶	1:02:40
9	2112	大貫　陽菜	1:02:47
10	3120	須藤　愛花	1:04:55

【団体成績】

順位	クラス
1	１年４組
2	１年３組
3	１年２組

スクールインターンシップ

１学年主任　天貝　恵美

スクールインターンシップは「産業社会と人間」の授業の中でも生徒に人気のある行事の一つです。校外に出られるということもあるのかもしれませんが、進学先を決める良いきっかけとなっていると思います。今年から１年生の時に１回と回数は少なくなりましたが、これを機に自分で調べ、実際に足を運んでみるという経験を積んでいくことを願っています。
今回視察させていただいた学校等は以下の通りです。就職希望者向けに企業にも伺わせていただきました。今後の進路選択に大いに役立ててもらえるのではないかと思っています。

【訪問先】
大学　　：桜美林大学、ものつくり大学、日本医療科学大学
専門学校：国際情報ビジネス大学、国際看護介護保育専門学校、宇都宮ビジネス電子専門学校、宇都宮アート＆スポーツ専門学校、国際テクニカル理容美容専門学校、国際テクニカル調理製菓専門学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校
就職　　：太田産業技術専門学校、竹内産業株式会社（太田工場）

「スクールインターンシップに参加して」　　１年３組　于　夢然（協和中）

今回のスクールインターンシップに参加して学んだことは、学校によって雰囲気が違い、それぞれに特色があるとうことでした。また、大学の先生の説明を聞いて、入学後何が学べるのか、どのように学ぶのかなどがよく分かりました。そして、大学の先輩たちと直接コミュニケーションを取り、大学の特徴などを聞くことができました。大学内の状況、設備、教育の質なども分かりやすく説明していただきました。学校によっては、その学校の施設を実際に利用して体験することもできました。

スクールインターンシップに参加して、授業に参加し、体験できたことがとても楽しくて、自分に合う大学を見つけること、将来の目標を明確にすることができたと思います。とても良い経験でした。

修学旅行

２学年主任　柳澤　美紀

１０月２３日より３泊４日の沖縄への修学旅行を実施しました。出発前に台風の接近による天候不良も心配されましたが、予定された日程を無事終えることができました。多くの皆様のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

初日に訪問した沖縄平和祈念公園では、代表生徒による献花南嶺の後、全員で黙祷を捧げました。事前の平和学習で鑑賞した「島守の塔」も訪れ、悲惨な沖縄戦を体験した人々の、平和への強い思いを感じ取ることができたようです。

班別行動や体験学習では皆楽しそうな表情を見せてくれ、一方ではそれぞれが自らの役割を果たし、成長してくれた４日間であったと思います。自分で実際に見て感じた経験に勝るものはありません。沖縄での人々との出会いや、ご縁を大切に、今後の進路実現へ役立ててもらいたいと思います。

「修学旅行を通して感じたこと」　２年１組　岡田　夢唯（毛野中）

３泊４日沖縄へ修学旅行に行き、戦争の事が特に印象に残っています。資料館には、思わず目を背けたくなるような写真や胸が痛む話が多くあり、今まで戦争を写真などでしか見たことがなかったので実際に触れることが出来てとても貴重な経験になったと思います。一方で、体験学習ではマリンスポーツを通じて沖縄の自然に触れ、友人たちと充実した時間を過ごすことが出来ました。今回の旅行は一生の思い出に残るものだと思うので、学びを生かし、今後の学校生活に繋げていきたいです。

芸術鑑賞会

芸術科担当　奈良部　裕子

10月17日､足利市民プラザにて芸術鑑賞会が行われました｡足利市では毎年、市内の高校に通う生徒が同じ作品を鑑賞しています。今年度は音楽座よる、ミュージカル「ホーム」を鑑賞しました。ほとんど生徒が生のミュージカルを鑑賞するのは、初めてということで、迫力ある歌声はもちろんのこと、演技、照明、舞台装置等様々なところに注目しながら楽しめたようです｡鑑賞後の感想では､「とても素敵なストーリーと感情を最大限に表現した歌とダンスが混ざって心をつかまれた。」「音楽があることにより、その時の場面の雰囲気や登場人物の気持ちがわかりやすかった。」「気持ちの表れを歌から感じることができ、自分も同じ世界に入り込んだような感覚になった。」「人物の感情によって歌の曲調も変わり、演者さんの表現力と合わさって、人物の感情や思いが伝わり、とても感動した。」などと述べられていました。

生で演奏を聴き、ミュージカルの魅力を感じることのできる良い機会となったようなので、身近な芸術文化にもさらに関心を持ってもらいたいです。来年度は音楽鑑賞の予定です。

後期生徒総会

生徒会長　宮崎　優輝

後期生徒総会では、前期総会で取り上げた要望事項の回答や生徒会会計中間報告・体育祭決算報告及び監査報告、さらに能登半島大雨募金、校則改定について、後期総会で取り上げた要望事項について、そして部活動に関することなどの様々な報告が行われました。また、後期総会に取り上げられなかった要望事項についての説明等が行われました。

生徒会執行部も新体制となり、不安もありましたが役員が一丸となって生徒総会を無事に終えることができました。この生徒総会が生徒にとってそして先生方にとっても有意義な時間になったと思います。

特別活動部　部長　厚木　範之

生徒会では昨年度末から校則改定について取り組んできました。２度にわたる全校生徒へのアンケートを実施し全校生徒の声を生徒会役員たちがいろいろと考え、導き出したことに全校生徒を巻き込んで活動してきました。その結果として校則の一部改訂にこぎつけることができました。校則改定というバトンが前期役員から後期役員へと引き継がれました。今後の役員生徒たちの活動を見守っていきたいと思います。

文化部発表会

特別活動部　部活動係　根津　龍一

１１月２０日（水）５・６時限目に文化部発表会を行いました。文化部発表会は青南祭がない年度に行われ、文化部が日頃熱心に活動に取り組んでいるその成果を披露し、多くの生徒に芸術への関心をより高めてもらうための行事です。今年度は、美術部と写真部が第２体育館で作品を展示発表し、演劇部と吹奏楽部とフォーク部が第一体育館でステージ発表を行いました。展示発表では、限られた見学時間の中で自分の興味関心が高い作品を時間いっぱい食い入るように見学する生徒の様子が多くみられました。ステージ発表では、設定された発表時間を余すことなく、観客を惹きつけるパフォーマンスをみせ、大いに生徒を楽しませていました。次回は２年後になりますが、今回発表に参加できていない団体もより多く参加し、文化部全体でこの行事を一層盛り上げてもらえたらと思います。

特色のある授業

「地域研究」

地歴公民科　後藤　千春

地歴・公民科では今年度から『地域研究』という科目を開講しました。この科目では、広い視野に立ち地域の諸課題を追求し解決を目指す活動を通して、地域社会を担う市民としての資質、能力を育てることが目標になります。

自分たちの地元の様々な分野について調査を行い、それらの結果をもとに、地元が活性化するためにどのようなことができるかをグループごとに考えました。「足南七福神」「劇場通りの活性化」「廃校を利用した学校体験ツアー」「ありがとう中橋」など、高校生のフレッシュな感性が光る楽しいプランがたくさんでてきました。

来年度以降は、実際に地域に足を運んだり、地域の人との関りをもったりしながら、地域の活性化についてより具体的に考えていきたいです。

活躍する足南生　フォーク部

フォーク部顧問　猿谷佳弘

本校フォーク部は「音で楽しむ、音で楽しませる、音楽で人の心を動かそう」を基本理念として日々活動しています。新型コロナウイルス感染症の景況を受けて活動の制限を受けてきましたが、規制の緩和を受けて今年度は例年以上の活動の場をいただくことができました。

今年度は３年生を中心として各種コンテストでの活躍が目立ちました。栃木県初となる軽音部を対象とした「第１回栃木県軽音楽部コンテスト」ではグランプリ・準グランプリを受賞、毎年栃木市で行われている高校生バンドのコンテスト「なつこい」ではグランプリ・なつこい賞・ベストギタリスト賞、足利商工会議所主催の「OTOMACHI 高校生バンド選手権」ではグランプリ・会長賞・オーディエンス賞と多くの賞をいただくことができました。

また、各種コンテストでの活躍が評価され、「足利春ウォーク」や「足利花火大会前夜祭ヤングヤング夏祭り」、「アシコタウン周年祭」など市内のイベントでの演奏機会をいただくことも多くなってきました。

こういった形で活動できているのも、活動を支えていただいている保護者の方や地域の方の助けがあってこそだと思っています。この場を借りて御礼申し上げます。今後も基本理念を達成することを考え精一杯活動していきたいと考えています。引き続き応援よろしくお願いします。

発行：栃木県立足利南高等学校　　教務部広報係
TEL：0284－72－3119（事務室）　FAX：0284－73－2772
TEL：0284－72－3118（職員室）
http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikaganminami/nc2/index.php?action=pages_view_main